

わの物京都

公益社団法人 京都府青少年育成協会
 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町 104-2
 京都府庁西別館
 Tel 075-417-0602 Fax 075-417-0603
 E-mail kpyda@cello.ocn.ne.jp

(青少年健全育成の取組を進める標語(スローガン))

気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ

たがいに信頼し尊敬しあえる 社会を目指して

地域団体、青少年関係団体、教育関係団体、京都府民の皆様方におかれましては、日頃より当協会の青少年健全育成活動に御支援と御協力を賜りまして誠に有り難うございます。

私、昨年(平成30年)の6月に京都府青少年育成協会会長に就任させていただいて以来今日まで皆様の確かなお支えをいただきながら、節目の50周年を越えた2回目の半世紀を歩みだすことが出来ました。もとより微力ではございますが誠心誠意務めさせていただきますので何卒宜しくお願い申し上げます。

当協会は、半世紀前に高度経済成長や多子化の中で、府民総意で青少年健全育成事業を推進する拠点として設けられ、以後時々の課題を先人のご奮闘により乗り越えてこられたところです。

しかし、協会の歴史の新たな半世紀を迎えた現在、少子高齢と人口減少や社会経済の低成長と財政環境の悪化等大変厳しい状況にあります。このような中で、次代を担うこども・青少年期の若者が健全に人間形成を図れるような安心・安全な環境づくりの取組を、総合的かつ効果的に推進していくことがより一層大切になってくるものと思います。

こども・青少年からシニアまで各世代に社会貢献活動や行催事への参加を促し、みんなが主役となれるような取組を通して、生きがいを持ち互いに信頼し尊敬しあえるような社会づくりの実現を、皆様の英知を頂戴しながら検討できればと考えております。

今後ともよろしく願いいたします。



公益社団法人 京都府青少年育成協会

会長 上田 静男

- P1 会長あいさつ
- P2 平成30年度第3回理事会の開催
*平成31年度事業計画が承認 *現役員体制
- P3 街頭啓発活動の実施
- P4 第40回「少年の主張京都府大会」
- P5 いじめ・非行防止フォーラム
会員団体等との連携
- P6 第22回「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」
京都府青少年健全育成成功労者表彰
大人が変われば子どももかわる運動

- P7 京都府青少年すこやかフォーラム
(第1回・第2回)
- P8 青少年育成市町村民会議の活動紹介(北から南から)
*与謝野町青少年育成会 *宇治田原町青少年対策協議会
- P9 青少年(育成)団体の活動紹介
*京都市地域女性連合会 *京都小さな生命を守る母親の会
- P10 京都府からのお知らせ
青少年育成市町村民会議懇談会
- P11 京都府立青少年海洋センター(マリンピア)
- P12 Information
*事業案内 啓発資料等の貸出 会員募集案内 あとがき

平成30年度第3回理事会を開催

平成31年度 事業計画と 予算が承認されました!

平成31年3月14日



平成31年度の主な事業

青少年健全育成府民運動の推進等

- 青少年健全育成推進のための街頭啓発活動
青少年(育成)団体等と連携・協働し、全国強調月間(7月・11月)など効果的な時期に街頭啓発・ミニコンサート等を実施します。
- 『大人が変われば子どもも変わる運動』の推進
- 『青少年スマホ・ケータイ・インターネット安全教室』開催支援
- 『青少年育成市町村民会議懇談会』の開催(6~7月)
- 『青少年健全育成地域活動推進事業』の実施
府内各地域で青少年(育成)団体等と連携・協働し、いじめや少年非行等の未然防止など、青少年の様々な課題に向けた取り組みを進めます。
* 「京都府青少年すこやかフォーラム」の開催
- 広報・情報提供事業



青少年の自主活動・社会参加の促進、活動支援

- 「第41回少年の主張京都府大会」の開催
- 京都府子ども議会の開催(隔年開催)
- 青少年団体等への活動支援



明るい家庭づくり運動の推進

- 明るい家庭づくり運動の普及・推進
* 「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」入賞作品を活用したカレンダーの作成
- 「第23回明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の実施



青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進

- 『青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)』及び『子供・若者育成支援強調月間(11月)』の取組
- 京都府青少年健全育成審議会<京都府設置>への参画
- 京都府青少年健全育成成功労者等知事表彰<京都府事業>への協力
- 「青少年の健全な育成に関する条例」の趣旨に基づく社会環境浄化の推進
- 各団体事業等への共催・参加協力



会員団体との連携・活動支援

- 青少年の育成に関する講座等の開催支援
- 会員団体等の活動に対する助言、共催・後援等
- 啓発資材等の貸出

その他

- 内閣府主催の会議等への参加
- 公益社団法人の運営(総会・理事会の開催)
- 財形基盤の充実

【現役員体制/任期:平成31年度定時総会まで】(平成31年3月1日現在)

会長	上田 静男	(公社) 京都府青少年育成協会	理事	中川 恵美子	京都市地域女性連合会副会長
副会長	篠田 常生	日本ボーイスカウト京都連盟副連盟長	中嶋 守	京都府少年指導連絡協議会副会長	
〃	高 繁行	宇治市青少年健全育成協議会会長	西川 定彦	京都府町村会事務局長	
〃	出蔵 裕子	京都府PTA協議会副会長	羽田 浩	京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課 青少年・若者・まなび担当課長	
理事	井上 正嗣	前宮津市長	坂東 美紀	京都府スポーツ少年団事務局長	
〃	大澤 彰久	京都市PTA連絡協議会会長	日比野 敏陽	京都府新聞社論説委員	
〃	岡本 徹	京都府市町村教育委員会連合会事務局長	藤原 公子	京都府連合婦人会理事	
〃	小川 敬介	(公社) 京都青年会議所直前理事長	細見 剛	京都府公立中学校長会生徒指導専門委員会副委員長	
〃	片山 嘉徳	京都府教育庁指導部社会教育課長	三宅 悦子	八幡市男山北地区民生児童委員協議会会長	
〃	篠塚信太郎	京都府町村民会議議長会副会長	宮本 英樹	朝京都放送滋賀支社社長	
〃	角倉 泰弘	舞鶴子ども育成支援協会会長	常務理事	北川 鯉平	京都府立青少年海洋センター所長
〃	田崎 仁志	京都府連合青年団団長	監事	木下 均	(公社) 京都府青少年育成協会事務局長
〃	田中 輝子	京都府府民生活部青少年課長	〃	奥野 浩	京銀リース・キャピタル㈱代表取締役社長
〃	寺井 正	京都府市長会事務局長	〃	野口 耕一	(一財) 今日庵事務局長
〃	寺本千鶴子	(一社) ガールスカウト京都府連盟副会長			

平成30年度青少年育成府民運動の推進

街頭啓発活動の実施

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と11月の「子供・若者育成支援強調月間」に併せて、京都府の青少年の問題行動の防止や非行対策及び社会環境浄化など、青少年健全育成推進のための街頭啓発活動を府内青少年関係団体や青少年育成市町村民会議、京都府立の高校生、京都市立の中学生、京都府内の大学生の方々やゆるキャラたちと一緒に実施しました。

7月「青少年の非行・被害防止全国強調月間」in KYOTO の開催

- 7月11日(水) 四条河原町交差点 (啓発活動)
- 7月20日(金) 四条河原町交差点 (啓発活動)
- *7/7(土)の活動を企画していましたが、雨天のため中止しました。



-----四条河原町-----



11月「子供・若者育成支援強調月間」in KYOTO の開催

- 10月20日(土) イオンモールKYOTO *きょうと地域創生府民会議協賛事業 (知事・高校生メッセージ・ミニコンサート&啓発活動等)
- 11月1日(水) 四条河原町交差点 (啓発活動)
- 11月4日(日) 久御山町民文化祭 (啓発活動)
- 11月7日(水) JR京都駅 駅前広場 (啓発活動)
- 11月16日(金) JR京都駅 駅前広場 (啓発活動)
- 11月17日(日) 向日市まつり (啓発活動)



開会あいさつ



街頭啓発活動



メッセージ



ミニコンサート



ミニコンサート



ミニコンサート



向日市まつり



久御山町民文化祭



JR京都駅 駅前広場



閉会あいさつ

◇◇共に活動した団体等◇◇

御協力ありがとうございました。

ガールスカウト京都府連盟 京都こども文化会館 京都市少年補導委員会 京都地域女性連合会 京都BBS連盟 京都府更生保護女性連盟 京都府少年補導連絡協議会 京都府スポーツ少年団 京都府青少年育成アドバイザー協議会 京都府PTA協議会 京都府保護司会連合会 京都ボランティア協会 子どもに残せる社会をつくる会 日本ボーイスカウト京都連盟 亀岡市青少年育成地域活動協議会 城陽市青少年健全育成市民会議 向日市青少年健全育成連絡協議会 八幡市青少年育成補導委員会 京都府立鴨沂高等学校 京都府立桃山高等学校 京都府立清明高等学校 京都市立京都御池中学校 京都女子大学 京都コミュニティ研究所 京都府教育庁指導部社会教育課 京都府警察本部少年課・下京警察署 京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来育成推進課 京都市教育委員会学校指導課 京都府町村会 京都府市町村教育委員会連合会 個人会員 京都府府民生活部青少年課 京都府広報監まゆまる ポリスまるん (順不同)

第40回「少年の主張京都府大会」開催しました。

平成30年9月23日(日)、京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)にて、「少年の主張京都府大会」を開催しました。(主催/京都府青少年育成協会・京都府PTA協議会・京都市PTA連絡協議会・国立青少年教育振興機構)



応募作品 府内の中学校及び特別支援学校中等部、32校2,874編の作文の応募がありました。

事前審査 6名の審査委員による事前審査により、入選20編(発表者)及び佳作28編を選出しました。

大会当日 日本ボーイスカウト京都連盟の高野百花さん(中学3年生)、ガールスカウト京都府連盟の西平瑛咲さん(中学3年生)の司会により進行了。20名の主張発表者の堂々とした姿に会場の聴衆者は大きな感動を味わいました。厳正な審査の結果、京都府知事賞には「頑張っている」をテーマに主張した、京都府立南陽高等学校附属中学校1年の植月理心さんが選ばれました。植月さんの主張は、11月に開催された全国大会(主催:独立行政法人国立青少年振興機構)に京都府代表として推薦し、審査の結果、全国大会での発表とはなりませんでしたが、努力賞を受賞されました。

【京都府知事賞受賞作文/全国大会で「努力賞」を受賞】

「頑張っている」

植月理心(京都府立南陽高等学校附属中学校1年)

私は「障がい者」がどれだけ頑張っているのかをもっと知ってもらいたいです。

障がい者で頑張っている人の代表と言ったら、パラリンピックの選手や過去の人物だとヘレン・ケラーなどが思い浮かぶと思います。その人達の伝記や話を聞いた人々はすごいと思うのではないのでしょうか?でも、その事が出来るようになるためには普通の人の何十倍の血のにじむような努力をしているのです。

私には小学4年生の障がい者の妹がいます。妹は赤ちゃんの頃病気になる、脳の半分を失ってしまいました。その時、お医者さんから「もう一生歩けないし、しゃべれない。車椅子生活になるだろう」と言われました。でも、驚くことに現在の妹は普通にしゃべれるし、歩くことも走ることも出来ます。その上、字を書いたり、足し算・引き算もすることが出来ます。私はこの時初めて、当たり前になることが出来るということが、どれだけ素晴らしい嬉しいことなのかを知ることが出来ました。しかし、それが出るようになったのは、妹、そして母の努力があったからです。

母は妹の将来が普通の子とはあまりに異なってしまうと知った時、とても悲しかったそうです。しかし、周りの人々の支えもあり、妹を育てていこうと父と決心したそうです。

妹はしゃべり始めたり歩き始めたりするのは普通の子と同じくらい少し遅いくらいで、保育園ではみんなと仲良く遊ぶことが出来ました。しかし、小学校に入ってからが大変でした。支援級で勉強を習いはじめると普通の子達との差が目立ち始めたのです。保育園の頃は何か出来ていたことも小学校に入り、やるのが難しくなったからだだと思います。例えばひらがなを習うとき、普通なら1日に5文字ぐらいポンポンと覚えて行くことが出来ます。

でも、妹の場合は一つの字を10ページに何回書いても、次の日には忘れてしまうという事の繰り返しでした。でも、母は諦めずに妹に字を教え続けました。そのおかげもあり、妹は1年生でひらがなを覚え、2年生ではカタカナ、3年生では簡単な漢字を覚え始めることが出来たのです。私と母は妹が何か一つ出来るようになるまで心から一緒になって喜びました。そして、妹が出来る事が増えていったのにはもう1つ理由があります。それはプライドです。私には妹の他にも弟がいるのですが、これが良く出来た弟でひらがなやカタカナや漢字、足し算や引き算が4歳の頃にはほとんど出来ていたのです。妹は、弟に負けたくないという思いで一生懸命勉強したのかなと思います。

ところが、そんなある日、妹は「何で何回も教えているのにわかってくれないの?」と学校で友達から言われたそうです。確かに普通の人なら一度言ったら覚えていられることでも、妹は何十回言ってもわかってくれないことがよくあります。でも何回も言い続けていたら絶対にわかってくれます。きっとその友達は途中で言い続けるのを諦め、イライラしてそんな風に言ってしまったのだと思います。妹は私に「何で私は出来ないの?」と聞いてきたので、正直ドキッとしました。「それは、病気のせいだよ」と言いたいのを我慢して、「一緒に出来るようになるまで練習しようか!」と言い、練習に付き合っていました。結局、出来るようになるまで2週間かかりましたが、妹は最後まで諦めませんでした。そして、出来るようになったことを友達に伝えると喜んでくれたそうで、妹もとても嬉しそうでした。もちろん、私も嬉しかったです。

妹は出来ないことがたくさんあるのではなく、出来るようになるまでに時間がかかるだけです。そして、出来るようになるために長い時間努力し続けています。普通だったら諦めて投げ出してしまうようなことをやり続けるのです。これがどれだけすごいことか、私には分かります。それは、一番近くでその姿を見てきたからです。だから、皆さんにも、もし町で障がいのある人を見かけたら、あの人も頑張っているんだろうなと思ってもらいたいです。そして、障がいがあってもこんなに頑張っている人がいるのだから、私も負けずに頑張ろうと思ってもらいたいです。

平成30年度いじめ・非行防止フォーラム

京都府青少年育成協会は、府内の各教育局と連携（共催 or 後援）し、本年度も「いじめ・非行防止フォーラム」を開催しました。

乙訓	「いじめ・非行防止フォーラム」	平成30年6月9日(土)	長岡京市立中央公民館	参加者	286名
山城	「やましろ未来っ子みんなde HUG フォーラム」	平成30年6月24日(日)	宇治田原町総合文化センター	参加者	530名
南丹	「なんたん子育てフォーラム」	平成30年6月17日(日)	京都学園大学	参加者	300名
中丹	「みんなdeコラボ in 中丹」	平成30年6月30日(土)	大江町総合会館	参加者	390名
丹後	「いじめ・非行防止フォーラム」	平成30年5月27日(日)	アグリセンター大宮	参加者	212名



「いじめ・非行防止フォーラム(乙訓)」



「やましろ未来っ子みんなde HUG フォーラム」



「なんたん子育てフォーラム」



「みんなdeコラボ in 中丹」



「いじめ・非行防止フォーラム(丹後)」

青少年健全育成に係る会員団体等との連携

～各団体事業等に協会からも参加しました。

- 第36回少年の主張大会(舞鶴子ども育成支援協会 6/16(土))
- 「ダメ。ゼッタイ」普及運動～6.26 ヤング街頭キャンペーン(きょうと薬物乱用防止行動府民会議 6/23(土))
- 第40回少年を明るく育てる京都大会(京都市少年補導連絡協議会 6/30(日))
- 第27回いのちの講演会(京都小さな生命を守る母親の会 7/16(月・祝))
- 設立30周年記念式典((公財)京都市ユースサービス協会 7/25(水))
- SKYふれあいフェスティバル2018(京都府 (公財)京都SKYセンター 9/15(土) 16(日))
- 久御山町民文化祭での街頭啓発活動(久御山町青少年健全育成協議会 11/4(日))
- 第17回おもろいやんか木幡(おもろいやんか木幡実行委員会 11/11(日))
- 向日市まつりでの街頭啓発活動(向日市青少年健全育成連絡協議会 11/17(土))
- 社会教育活動実践交流フォーラム平成30年度京都府社会教育研究大会(京都府社会教育委員連絡協議会 11/22(木))
- あすのKYOTO地域創生フェスタ(きょうと地域創生府民会議 11/23(金・祝))
- 第35回綴喜青少年の主張大会(綴喜地区青少年問題連絡協議会 1/20(日))
- 第36回宇治市青少年健全育成推進大会(宇治市青少年健全育成協議会 1/27(日))
- 平成30年度 研修交流事業 ゆめっと未来づくりセミナー(京都青少年ゆめネットワーク 1/29(火)・2/26(火))
- ガールスカウトフェスタ((一社)ガールスカウト京都府連盟 2/11(月・祝))
- 公益財団法人京都府体育協会創立90周年記念式典((公財)京都府体育協会 3/3(日))
- 「青少年いいネット京(みやこ)フォーラム」(オール京都で子どもを守るインターネット利用対策協議会 8/1(水) 3/19(火))
- 府内青少年とJICAボランティア派遣・帰国隊員との交流会(京都府 12/20(木))



SKYフェスティバル



ゆめっと未来づくりセミナー



ガールスカウトフェスタ



ヤング街頭キャンペーン

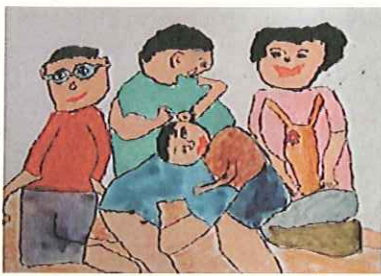


綴喜青少年の主張大会

平成30年度 第22回「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」を実施しました。

第22回「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」は、小学生の目から見た家族や家庭内での微笑ましいふれあいを絵に描くことやそれを鑑賞することを通して明るい家庭づくりへの気運を高めていこうと平成7年度から実施してきました。本年度は59校479点の心温まる作品の応募をいただきました。

その中から審査の結果、京都府知事賞に森山陽斗さん(精華町立山田荘小学校2年)他入賞者22名と佳作16名が選ばれ、去る1月26日(土)、文化パルク城陽(ふれあいホール)で開催した「京都府青少年すこやかフォーラム」の第1部にて表彰状と記念品が授与されました。また、府内13か所において入賞作品の展示を行いました。



★京都府知事賞
「えがおいっぱい、お話いっぱい」
精華町立山田荘小学校2年 森山 陽斗くん



★京都府青少年育成協会会長賞
「家族でお出掛け」
木津川市立城山台小学校1年 林 将史くん



♡入賞作品展示風景(京都府庁会場)

京都府青少年健全育成功労者等表彰



11月29日(木)、京都府公館において、青少年の健全な育成に功労のあった個人・団体の功績を称え、青少年健全育成功労者等表彰式が開催され京都府知事から表彰状及び記念品が贈呈されました。

表彰を受けられた方々

青少年育成部門(個人)

芦田 君代	安達 博志	系井 典子	猪岡 敏一
岩佐 恭子	勝間 喜一郎	久保田 展史	小林 幸次郎
坂下 泰幸	重松 希代子	嶋川 千恵子	角倉 泰弘
高橋 圭子	辻井 朝美	中川 恵美子	西堀 あき子
布崎 志郎	福味 定	松本 勲	村上 理

青少年育成部門(団体)

学校法人京都外国語大学
京丹波町スポーツ少年団
下京少年補導委員会 有隣支部
神明学区青少年健全育成協議会
中京少年補導委員会 朱三支部
福知山市少年補導委員連絡協議会

青少年部門(個人)

藤本 梨恵子

青少年部門(団体)

大宮児童合唱団
峰山少年少女合唱団

-青少年の心を育てるキャンペーン-

(7回シリーズにて掲載します)

大人が変われば 子どもも変わる運動

シリーズ 1 とは!

最近の青少年を取り巻く環境は大きく変化し、家庭・地域の教育力の低下が懸念される中、ケータイ・スマホ・インターネットが普及し、それらの利用によるトラブルや被害、いじめやひきこもり、不登校等の様々な青少年問題が山積しています。

この取組は、次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と優れた創造性を養い、心身共にたくましく成長するために、大人が自分たちの役割と責任を自覚し、日々の生活の中で大人自身が姿勢を正して子どもの手本となるよう心がけていこうとする運動です。

「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考え方に立つてみると、私たち大人から、先にしなければならぬことがたくさんあります。まず、大人自身が変わること。そして、子どもたちを温かく見守り、支えてあげることでないでしょうか。

さあ、はじめてみませんか。

一次回からのお知らせ

- シリーズ2 大人の「気づき」活動のノウハウ
- シリーズ3 地域のおじさん・おばさん実践活動(1)
- シリーズ4 地域のおじさん・おばさん実践活動(2)
- シリーズ5 モラルのあり方や生き方
- シリーズ6 子どもたちからのメッセージ
- シリーズ7 No.1の豊かな心を築くために



平成30年度

第1回京都府青少年すこやかフォーラムを開催しました！

主催 (公社) 京都府青少年育成協会 京都府

青少年の健やかな成長を願い、青少年を巡る喫緊の課題について、「一とっても役に立つ— コミュニケーションの「コツ」!!」をテーマに青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会として開催しました。

- 日時 | 10月27日(土) 13時30分～16時
- 場所 | 西本願寺聞法会館
- 内容 |

●講演1. 「こころ元気な大人が、子どもの未来築く!」
～豊かな心を育むコミュニケーション～
こころ元気研究所 鎌田 敏氏

「楽しく、わかりやすく、ためになる!」をモットーに、コミュニケーションの大切さや方法について、とても笑いがあり、参加者からは「楽しかった」「よくわかった」等の声を聞くなど、参加者を巻き込んだ講演でした。

—参加者感想—

- ・こんなに楽しい講演があったのですね。コミュニケーションと聞いて難しいと思っていましたが、とってもわかりやすく具体的に話してくださり、即実践に繋げようと思いました。

●講演2. 「活動におけるコミュニケーションの実践例」

キャンプリーダーやキャンパカウンセラーの大学生ボランティアと共に事業を実施していく上で、コミュニケーションがいかに大切なことであるかを、現場での実践例を挙げながら紹介していただきました。

—参加者感想—

- ・大学生リーダーを育てていく方法が大変素晴らしく、学生の成長に感動しました。



第2回京都府青少年すこやかフォーラム (城陽市青少年健全育成市民会議新年研修会)を開催しました！

主催 (公社) 京都府青少年育成協会 京都府 城陽市青少年健全育成市民会議

本年度2回目のフォーラムは、「家庭・地域で何かできるのか? スマホ・ネットとGOODな関係!」をテーマに青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会として城陽市青少年健全育成市民会議と共催(協働)で開催しました。

- 日時 | 1月26日(土) 14時～16時30分
- 場所 | 文化パーク城陽(ふれあいホール)
- 内容 |

●第1部 第22回「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」表彰式

●第2部 —講演—

「子どもを取り巻くスマホやネット環境とのつきあい方」

(一社) ソーシャルメディア研究会

チーフ技術指導員 竹内 義博氏

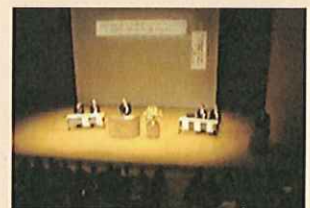
兵庫県立大学 ソーシャルメディア研究会 学生(2名)

竹内先生からは、今のネットの特性やネットで起きている問題を分かりやすく説明していただき、その対策としてモラルの自立、親子でのコミュニケーションの大切さを話していただきました。

また、兵庫県立大学の学生(2名)からは、小学生から高校生のネット使用率の高い状況を報告いただき、スクリーン上で実際にスマホの画面を操作しながら、ネット利用とその安全対策について、わかりやすく説明していただきました。

—参加者感想—

- ・小学生のスマホ利用者が多いことに驚きました。親も子供と一緒に利用方法等、勉強していきたいと思いました。
- ・スマホの良い、悪い点をはっきり理解できたような気がします。



青少年育成市町村民会議の活動紹介

与謝野町青少年育成会（会長 山添 藤真 与謝野町長）

[北から南から]

与謝野町青少年育成会は、平成18年3月に新町誕生と同時に設立され、町内3地域ブロック（28支部）と教育・行政等関係団体の代表、106名で構成されています。各支部では、ラジオ体操やパトロール、キャンプ等、支部独自の活動が活発に実施されるとともに、本部事業としては、毎年、総会の席で長年のスポーツ指導者やボランティア活動等に「功労者表彰」を行ったり、町内のスーパー店頭でチラシとグッズを配布する「街頭啓発活動」を実施したりしています。また、「家庭の日」に位置付けた「親子ふれあい事業」として、与謝野町食生活改善推進員協議会やスポーツ推進委員会の協力を得て「親子スイーツづくり&レクリエーション」を実施し、親子で楽しくいい汗を流しながらコミュニケーションを深めています。

そして、「子ども発表会」は、町内小・中・高等学校12校の代表が日頃の体験や将来の夢、町づくり等について意見を発表する事業で、子ども達の立派な態度と前向きな意見に大人も感動を受け、よい感想や評価を多くいただいています。

これからも、これらの活動の一層の充実に努めますので、ご支援をよろしくお願いします。

（事務局：与謝野町教育委員会社会教育課内）



功労者表彰



子ども発表会



街頭啓発活動



親子スイーツづくり&レクリエーション

宇治田原町青少年対策協議会（会長 細谷 林造）

宇治田原町青少年対策協議会は、平成元年に設立され「青対協」と地元では呼ばれています。青少年の心身の健やかな育成、健全な成長を守る環境づくり、非行やいじめその他の問題行動の防止等を目的にして、町内の20関係団体と行政から選出いただいた24名の委員で構成されています。

6月に総会を開催したあと、田辺警察署宇治田原町交番の協力を得た、5回の町内安全パトロール（夏季期間中）は、青パトを運用し実施しています。10月には、田原小・宇治田原小・維孝館中の学習発表会や文化発表会に合わせ、「あいさつ・声かけ7か条」を掲載したチラシを配布して、保護者・地域の皆さんに青少年の健全育成を呼びかけています。

11月には高齢者教育「ことぶき大学」と共催して、小・中学生主張大会を開催し、高齢者の皆さんを含む多くの町民の皆さんに小中学生の思いや考えを聞いていただいています。また、代表者3名が綴喜地区青少年の主張大会に出場しています。

宇治田原町では、各関係団体が連携し地域ぐるみで次代を担う青少年の健全育成に取り組んでいます。

（事務局：宇治田原町教育委員会社会教育課内）



青少年関係団体活動紹介

京都市地域女性連合会 (代表 佐伯 久子)

学習と実践活動を推進する女性会

京都市地域女性連合会は、昭和23年9月に発足し、昨年創立70周年を迎えました。

「男女共同参画社会の実現」と「温もりのある地域づくりを推進しよう」を活動目標に、様々な分野で「学習」と「実践」に取り組んで来ました。

社会教育団体として、各行政区における温もりのある地域振興事業に取り組むなど、隣のおばちゃんとしての能力を発揮し、子供の健全育成や子育て支援、子育て世代の親達の相談や情報交換など地域に寄り添う活動をしています。

また、単位学区においては、学校との連携を密にし、日々子供たちとのふれあいの中で、昔遊びや文化活動など地域のボランティア先生としての役割を果たし、他団体との協力事業では、時代祭、奉祝民踊、結核予防会協力、環境問題、スポーツフェスティバルなどの活動を行い、社会福祉活動ではボランティアとして各地域で活躍をしています。

なお、組織の活性化を推進するためには、常に学習と実践が求められます。女性リーダーとしての資質向上を図るため、毎年「一泊研修」と「リーダーズセミナー」を実施しています。今年度は「心の豊かさ」をテーマに研修を行いました。

今後も「自分と相手を大切にすることと行動」を実現する女性会活動を更に深めていきたいと思っております。



愛のパレード



研修会

京都小さな生命を守る母親の会 (代表 岩崎 紘子)

いのちを授かる・育てる・つなぐ よろこびの町づくりを！

「いのちは授かりもの」と慈しまれて育った子どもは、他者への思いやりや忍耐力を持っています。子育てはお母さんのお腹の中から始まっています。

私たちは、お腹の中からのいのちを大切にすることが、子ども達の健全な成長につながることから、生命尊重教育を保護者や教育関係者などの皆様にお伝えしながら、見守る・待つ・寄り添うことをモットーにコツコツと活動しています。

これからも、全ての生命が温かく迎えられる町づくりを提案していきたいと思っています。



いのちの講演会



生命尊重教育を学ぶ「研修会」



お腹の赤ちゃんを救う「円プリオ基金」募金活動



牛乳パックで手作り「基金箱」



一円玉の贈呈式



子育て座談会

京都府から のお知らせ

～「青少年の健全な育成に関する条例」が 一部改正されました～

青少年が自分の裸体等を自ら撮影し、その画像をメール等で送付させられる被害、いわゆる自画撮り被害が全国的に増加していることから、京都府では、「青少年の健全な育成に関する条例」を一部改正して、自画撮り被害を未然に防止するため、自画撮り要求行為そのものを規制するとともに、違反者を罰する規定を設けました。

また、近年「JKビジネス」と呼ばれる、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある営業が増加していることを踏まえ、このような営業から青少年を保護するためにも、「青少年の健全な育成に関する条例」を一部改正して、これらの営業形態を「有害役務提供営業」と定義づけ、これら営業を営む者等に対し禁止行為や義務事項を課して規制できるようにしました。

～「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」の開催について～

主催 オール京都で子どもを守るインターネット利用対策協議会

平成31年9月29日(日)13:00～16:00 ルビノ京都堀川「みやこの間」
情報モラルやメディアリテラシーについて、大人と子どもが一緒に考えましょう

インターネット利用環境の拡大に伴い、増加する青少年のトラブルを防止するなど、安全で安心なネット利用を目指し、青少年と保護者がともに考え青少年が自ら発信する場として「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」が開催されます。

みんなでネットの正しい使い方について考えてみませんか？



協会からの 報告

平成30年度 青少年育成市町村民会議懇談会を開催しました。

今年度も、府内4会場で青少年育成市町村民会議懇談会を開催しました。懇談会では、各団体の本年度の取組等について交流すると共に、「山城南」「乙訓・南丹」会場では京都立青少年海洋センター(マリンピア)のリニューアル施設の説明を、「中丹・丹後」会場は、マリンピアで開催しリニューアル施設の見学や体験をしていただきました。各管轄地域の京都府広域振興局や京都府教育局からも参加していただき、幅広い交流を持つことが出来ました。

【山城北】<文化パーク城陽>

宇治市・城陽市・久御山町

平成30年6月27日(水)参加者62名

*宇治・城陽・久御山青少年健全育成連絡協議会総会を懇談会に位置付けました。

【山城南】<京都府田辺総合庁舎>

八幡市・京田辺市・木津川市・井手町・宇治田原町

・精華町・笠置町・和束町・南山城村

平成30年7月3日(火)参加者25名



【乙訓・南丹】<京都府乙訓総合庁舎>

向日市・長岡京市・大山崎町・亀岡市・南丹市・京丹波町

平成30年7月17日(火)参加者25名

【中丹・丹後】<京都府立青少年海洋センター>

綾部市・舞鶴市・京丹後市・伊根町・与謝野町

平成30年7月23日(月)参加者16名

*福知山市・宮津市からオブザーバーとして参加いただきました。



潮騒の聞こえる宿泊施設

京都府立青少年海洋センター マリンピア

学校・親子行事・クラブ合宿・一般の方々のサークル活動などにご利用いただけます。
お気軽にご相談ください。

宿泊施設

- ・ 宿泊定員 225名 (大人)
- ・ 宿泊室 20室 (1室定員10名)
5室 (1室定員5名/リーダー室)
- ・ 談話室 ・ 浴室 ・ シャワー室 等



研修施設

- ・ 講堂 (200名)
- ・ 研修室 4室 (20名収容2室 40名収容2室)



食堂

- ・ 収容人数 220名 (最大266名)



活動施設

- ・ 芝生の広場
- ・ フィールドアスレチック
- ・ 体育館
- ・ ファイヤーサイト
- ・ 野外炊事場 (定員100名)
- ・ トレーニング場
- ・ ボルダリング場



その他の活動

- ・ カッター活動
- ・ 磯観察 など



ボルダリング場



野外炊事場



体育館 冷暖房完備



トレーニング場

**New
施設**

*施設利用料は別途必要です。

アクセスのご案内

■お車で

- ・ 京都市内から1時間45分
- ・ 大阪・神戸から2時間
(中国自動車道
・ 舞鶴若狭自動車道経由)
- ・ 米原から2時間30分
(北陸自動車道
・ 舞鶴若狭自動車道経由)
※京都縦貫道 宮津天橋立ICから約20分

■列車で (京都丹後鉄道宮津駅下車/タクシーで約15分)

- ・ 京都から2時間
- ・ 大阪から2時間10分
(JR福知山線・京都丹後鉄道宮福線経由)



区分	宿泊料	冷暖房料 1人 200円	宿泊利用者 食事料	
小学生	700円		朝食	410円
中学生	900円		昼食	660円
高校生	1,200円		夕食	970円
一般	2,300円			

お問合せ先

〒626-0068 京都府宮津市字田井 382

TEL 0772-22-0501 FAX 0772-22-0503 URL <http://marinpia.jp>





Information

2019

第41回少年の主張京都府大会を開催します。

日時 平成31年 **9月22日(日)**

会場 京都府総合教育センター(講堂)

*作文応募対象は、京都府内の中学校及び特別支援学校中等部に在籍している生徒。

作文応募締切は、平成31年 **8月2日(金)**

2019

第23回「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」 事業を実施します。

*作品応募対象は、京都府内の小学校及び特別支援学校小学部に在籍している児童。

作品応募締切は、平成31年 **9月9日(月)**

ご利用ください



「青少年スマホ・ケータイ・インターネット安全教室」開催支援

携帯電話等によるトラブルの被害から青少年を守ることを目的として、「青少年の健全な育成に関する条例(フィルタリング規制)」の周知徹底を図る『スマホ・ケータイ・インターネット安全教室(講師派遣)」の開催を支援します。

講師を希望される青少年育成市町村民会議及び青少年(育成)団体等は随時受け付けておりますので、協会事務局までご連絡ください。

啓発資材等の貸出

啓発教材等の貸出を行っております。
ご利用は、協会事務局までご連絡ください。

- (1) 視聴覚教材(DVD等)
- (2) 明るい家庭づくり運動パネル
- (3) 大人が変われば子どもも変わる運動パネル
- (4) のぼり、横断幕



会員募集中

(公社)京都府青少年育成協会は、次代を担う青少年の健全育成を図るため、府民総ぐるみの育成運動を進めています。
この趣旨に御賛同・御協力いただける会員を募っています。

正会員 協会の目的に賛同される個人又は団体
会費(年額)
個人 2,000円 団体 3,000円

賛助会員 協会の目的に賛同される個人又は団体
賛助会費(年額) 1口 2,000円

問合せ・申込先

(公社)京都府青少年育成協会
京都市上京区出水通油小路東入
丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
TEL:075-417-0602 FAX:075-417-0603
e-mail:kpyda@cello.ocn.ne.jp



あとがき

桜のほのかな香りがスーと漂い、清水寺や二条城などでは幻想的な美しさの夜桜ライトアップで桜花の京都の到来ですね。

今回号では、当協会や会員団体等の30年度の活動を紹介・報告をさせていただきました。

社会では、SNSや薬物乱用等、日々状況が大きく変化しています。これからも子どもたちにとって「どうすればいいのか」と常に問いかけながら、これまでの多くの方との出会いやご縁を大切に、新たなご縁と出会うことができまよう、皆様と一緒に日々活動していきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願いします。

(N)

*表紙の題字「わのわ」は、勝間喜一郎氏に書いていただきました。